

教育委員会定例会会議録

開催日時	平成29年6月2日（金）午前9時00分
開催場所	木城町総合交流センターリバリス1階会議室
出席委員	委員長 原 朋輝 委 員 柄本奈津美
	委 員 鳴海 良廣 委 員 牛田 裕子
	教育長 中竹 聖子
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 西田誠司 課長補佐 白岩修
	学校教育係長 長友三保 給食センター係長 渡邊千里
<p>・議長選出：原朋輝委員長に議長をお願いしました。</p> <p>議題及び議事</p> <p>(1) 6月定例会会議録署名委員の指名（原委員長・牛田委員）</p> <p>(2) 5月定例会会議録承認について（原委員長・柄本委員） 事前に送付していた5月定例会議事録について、承認され、兩名において署名</p> <p>(3) 事務局報告事項</p> <p>① 教育長報告</p> <p>・5月1日（月）木城町臨時議会が開催され、議会の構成メンバーが替わりました。議長に黒木泰三議員、副議長に神田直人議員が就任し、産業文教常任委員会委員長に中武良雄議員が就任しました。5月9日（火）に木城町地域婦人連絡協議会が、これまでの活動を評価され、宮崎県地域づくり顕彰において地域づくり奨励賞を受賞し、その授賞式が行われました。会員が減少している状況ではありますが、この受賞を契機に会員の増加と更なる飛躍を期待しています。5月11日（木）から全国町村教育長会に出席しました。3自治体と文科省からの発表・報告がありました。この出張に併せて、埼玉県毛呂山町の新しき村を訪問しました。目的は、本町で来年度開催予定の日向新しき村100周年記念行事の内容検討のためで、本年度実行員委員会が立ち上がっており、連携等の確認です。所蔵品等の借用等についても協議してきました。5月14日（日）石井十次の会に参加しました。町内の会員の方も多数いらっしゃいますが、会員の高齢化が進んでおり、木城町としても何らかの手立てができればと考えております。5月16日（火）から地区座談会が町内8か所で開催されました。出席者は100名余りでした。道路整備や有害鳥獣駆除などの環境整備に関する意見が多かったのですが、教育課関係については、保育所・幼稚園から小学校へ繋がる体系的な教育の取組、リバリスホール事業の充実、町体育館の天井改修の必要性などの意見が出され、その場で説明し、理解は得られました。伝統文化事業としての芸能発表会の在り方について、厳しい意見もありましたので、今後、教育委員会でも検討していきます。5月31日（水）に木城小学校において、小中連携推進委員会に原委員長、</p>	

外山専門監と参加し、原委員長より、委嘱状の交付とご挨拶をいただきました。今後、小・中両校長を中心に、12名の委員によりまして、研究・実践・検証を行ってまいります。5月から木城中学校の美術の授業において、週1回の割合で町内在住の前田さんの協力を得まして、より専門的な授業を行っております。6月からは小学校において、書写の指導としまして、石河内の松田省吾さんより、指導していただくこととなっています。教育委員会の公開の観点から、4月の定例教育委員会の議事録から、議事録署名をいただき分より、順次木城町のホームページにアップしておりますので、ご確認をお願いします。また、中学校のホームページも大幅に更新されておりますので、併せて閲覧いただきたいと思います。

② 行事報告及び行事予定（課長説明）

課長

・5月行事報告及び、6月行事予定について説明。5月16日（火）高鍋美術館館長他が来庁され、本年度高鍋町美術館で開催される武者小路実篤展について、挨拶・説明を受けました。来年度、本町で予定しています、日向新しき村100周年記念事業についても説明を行い、今後、双方で連携・協力していくことを確認しました。5月29日（月）に義務教育の充実を図る連絡協議会に出席しました。メンバーは、各市町村、小中校長会代表、県教育委員会で構成され、義務教育の向上・充実を目指していく協議会です。働き方改革として教師の「多忙感」について、現状・取組等、後の意見交換の場で説明をします。各委員さんのご意見をいただきたいと思います。続きまして、6月の行事予定についてですが、6月2日（金）に6月期定例教育委員会の開催となっております。6月3日（土）に県民総合スポーツ祭開会式が宮崎市で開催され、関連で6月4日（日）にアーチェリー大会が山塚運動広場で開催されます。6月3日（土）から、第68回西都児湯地区中学校総合体育大会が、郡内各会場で開始されます。また、6月4日（日）は、町体育館において、女性のつどいカローリング大会が開催されます。6月9日（金）から6月15日（木）まで6月木城町議会が開催されます。補正予算及び一般質問が出されておりますので、後で詳細を説明します。6月11日（日）に福祉関係の避難訓練が開催されます。河川氾濫による災害発生を想定し、初期防災活動の確認を行います。6月12日（月）に第1回教科用図書児湯採択地区協議会が開催されます。委員長、教育長、課長、専門監で出席します。6月14日（水）に第1回木城町教育委員会評価委員会を開催します。評価委員2名により、平成28年度の教育委員会における事業・業務等について、評価を受けるものです。6月25日（日）に町体育館において、町民体力づくりスポーツ大会ミニバレーを開催します。7月18日（火）に第2回教科用図書児湯採択地区協議会が開催される予定です。

白岩補佐

5月24日（水）に木城町青少年育成町民会議総会が開催され、本年度の会長が、上田好昭さんから宮山政士さんに変わりました。5月27日（土）に県民総合スポーツ祭木城選手団壮行会が開催されました。16種目、37名の参加となっています。

長友係長（学校）

6月第1週目にプール開きを行い、水泳の授業が始まります。

渡邊係長（給食）

5月19日（金）に学校給食共同調理場連絡会総会及び宮崎県学校給食共同調理場運営委員会に出席しました。平成29年度は、西都・児湯の事務局は木城町となります。

6月に第1回郡内給食センター所長会を開催予定です。

（3）意見交換

課長

平成29年度6月定例議会に上程しました一般会計補正予算について説明します。主なものを声明します。歳入につきまして、工事による体育館閉館に伴う使用料減額400千円、その工事に係る国の補助金（事業費の3分の1補助）16,666千円、教育寄附金として、150千円、宝くじ助成事業補助金2,500千円を計上しています。歳出につきまして、来年度日向新しき村100周年記念事業の実施に向けて、その実行委員会を立ち上げ、内容の検討と計画を行います。その経費として225千円、中原地区公民館の備品等整備補助金として2,500千円を計上していますが、これにつきましては、宝くじ助成事業（100%補助）により実施予定です。詳細につきましては、来月の定例教育委員会で報告します。

一般質問についてですが、山田議員より奨学金、育英資金について、今後給付型への取り組みについて質問が出されております。

委員長

先月の定例教育委員会の議題に取り上げて議論を行ったところですが、委員各位のご意見を伺いたいと思います。

鳴海委員

給付型の奨学金制度を行う場合、恒久的な財源確保の問題もありますので、そちらの議論も必要だと思います。

教育長

事務局案を説明。

課長

制度がよりよくなり、真に学生のためになるのであれば、制度の見直し等も必要になってくると思いますので、制度についても、今後も継続して協議・研究していきたいと思えます。

続きまして、5月29日に開催されました義務教育の充実を図る連絡協議会の中で議論されました教職員の働き方に係る「多忙感」についてあります。新聞紙上でも取り上げられていますが、政府の労働調査等によりますと、教職員における働きすぎ問題が取り上げられています。県の教育委員会から、「教職員の働きやすい環境づくりプログラム」に係る「サマーキャンペーン」の実施依頼がきております。これは、各小中学校において、夏季休業中に1週間程度、県及び市町村教育委員会が主催する会議や研究等の自粛を推進し、教職員が休暇を取りやすい環境をつくるというものです。また、他の市町村が実施しています、夏季休業中に学校閉庁日を設定し、強制的に休暇を取るような仕組みもあります。これについては、管理規則の改正や緊急時の連絡体制など条件整備が必要となってきます。併せて、学校管理職によります、教職員の出退勤時刻の把握の必要性についても提案があります。教職員の出退勤時刻を正確に把握することで、長時間労働を是正し、健康管理につなげるとともに、ワークバランスの充実を図るものです。

教育長

県立学校においては、本年度より、試行で教職員の出退勤時刻の把握を行っています。

委員長

教職員の働き方に係る「多忙感」について、ご意見をお願いします。

柄本委員

高校においては、部活動だけでなく、受験対策としての課外等による勤務が多くなっていると思います。教員が、「生徒（自分自身）のことを思って休む」という感覚がないのではないのでしょうか。とにかく、先生方が一生懸命頑張っています。教師自身が自発的に休むという感覚を促すような制度・取組は必要だと思います。

教育長

長時間労働による、心身のバランスが崩れ、心の病を発症する教職員も増えてきています。

鳴海委員

教師の働き方問題の一方で、少子化等を理由に教職員の数を削減したり、あるいは、教育課程の変更等により、一人ひとりの負担が増えているということで矛盾を感じます。この問題については、真剣に議論していかなければならないと思います。

牛田委員

教師の「多忙感」というのは、授業だけでなく、教材を作ったりすることで時間外労働が多くなってきます。授業中は、当然、そのようなことはできないので。

鳴海委員

保護者のニーズの多様化も影響しているとも思います。教師のプレッシャーも大きくなってきているのではないのでしょうか。

教育長

子ども達も多様化しており、その中で、健全な学級経営を目指していかなければならず、また、個人情報の保護の関係で、家に持って帰って作業をすることができずに、いろいろな教材等の作成を授業が終わった後、学校で行うことも要因となっていると思います。

牛田委員

部活動については、今後2巡目の宮崎国体も予定されていますので、競技力アップのため、ますます活発になるのではないかと懸念しています。

教育長

教職員の中で、教頭が全く休みを取れない状況になっています。先ほど話題になりました、学校の完全閉庁制も考えていかないといけないと思います。

委員長

文書でこのように通知があったということは、このようにしなさいということですか。

課長

まずは、教職員の勤務実態を把握することで、学校管理職はもとより、教師自身が働き方について考えるとともに、教育委員会も同じ問題意識を持ち、「多忙感」の解消に努めることが大切だと思います。この問題については、県の動向を踏まえて、今後も引き続き協議・検討していきます。

(4) 次回定例会日程

- ・平成29年7月5日(水) 午前9時よりリパリス1階会議室での開催が承認されました。このとき、木城町教育委員会評価委員2名の傍聴予定

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

会議録署名委員
木城町教育委員会

委員長 原 朋 輝

委員 牛 田 裕 子